

概要版

歴史文化を継承し

愛する次世代へつなぐ

安全・安心のまち

伊丹小学校地区自治協議会 地域ビジョン

平成二十八年 四月～三十八年 三月



伊丹郷町の景観や俳諧文化、猪名野神社に代表される、歴史ある社寺仏閣等の古きよき時代の面影は、現在も住む人、訪れる人ともに多くの人を惹きつけています。また、交通や生活面等の利便性が非常に高い地域という特徴があります。

将来にわたってこうした風情が残され、伊丹市の中心地での賑わいを維持していくためには、周辺部から集中する交通の安全や犯罪への取り組み、美化・緑化などの環境保全等を進めていくことが重要です。安全・安心で良好なまちであり続けることで、さらに新たな住民を惹きつけ、活気あるまちが維持されることにつながります。

一方、地域での活動を支える住民の担い手の固定化や高齢化が課題となっています。住民間であいさつができる関係づくりを進め、住民同士での見守りから活動への参画を進め、次世代が明るく楽しく暮らせるまちづくりをめざしていきます。

伊丹小学校地区の現況

地域の概要

伊丹小学校地区は、伊丹市の中心市街地に位置する地域です。北河原 1 丁目、2 丁目、3 丁目（一部）、4 丁目、5 丁目、北本町 1 丁目、2 丁目、3 丁目（一部）、行基町 1 丁目、2 丁目、桜ヶ丘全域、清水全域、中央全域、西台全域、藤ノ木 2 丁目、3 丁目、船原全域、宮ノ前全域からなります。人口 19,529 人、8,465 世帯が暮らししており（平成 22 年国勢調査）、伊丹市 17 校区中では最も多い市全体の人口の約 10% を占めています。

当地域は戦国期に有岡城城下町として形成され、江戸時代に酒造業で繁栄した「伊丹郷町」を中心に、商工業の盛んなまちとして栄え、井原西鶴等文人墨客が訪れる俳諧文化の中心地としても栄えてきました。現在も旧岡田家住宅、柿衛文庫は、江戸時代に隆盛を極めた伊丹の酒造業の歴史、清酒醸造と共に華開いた俳諧文化の風情を今に伝えています。

交通面では、JR 伊丹駅と阪急伊丹駅があり、アクセス性が高く、多数の公共施設・文化施設が立地しています。利便性が高い地域であるため、近年、マンションや集合住宅が増加し、子育て世代や中高年層が多く転入しています。また、駅周辺を中心とした古くからある飲食店・商店街に加え、再開発事業で多種多様な商業施設が集積しており、宮ノ前まつりや三軒寺前広場等でのイベントには地域内外からも多くの人で賑わっています。



まちづくりの課題

まちづくりとして取り組むべき課題を、まちづくりアンケート、まちあるき、3 回の意見交換会（ワークショップ）、ならびに地域ビジョン策定検討委員会での議論を経て、以下の 5 点に整理しました。

1 今後増加する高齢者への対応

- 伊丹小学校地区の高齢化率は、ひとり暮らしの高齢者を中心に年々増加傾向にあります。
- マンション等居住者の増加や、近隣住民間の関係の希薄化に伴い、孤立する高齢者の増加が見込まれています。

2 子どもの見守りや若い世代の地域活動への参加促進

- 住民同士のつながりの希薄化が進み、近年、いじめを起因とした自殺や家庭での児童虐待等が社会問題となっています。
- 新たに居住される若い世代の地域活動への関心を高め、地域での見守りや行事等への参加・協力を促す必要があります。
- 子どもが自由にボール遊びをすることができるような、安全でのびのび遊べる空間の更なる確保が必要です。

3 防災・安全と美観の確保

- 災害・安全面では、抜本的な水害対策と日頃からの災害への備えなど防災意識の向上が急務となっています。
- 通勤・通学者が多く、歩行者や自転車の交通の集中により自転車マナー問題や、駅周辺の放置自転車問題が生じています。
- 自動車の交通量が多く、歩行者が危険、自動車の騒音により音響式信号の音が聞き取れない等の課題があります。
- 環境面では、カラスによるごみの散乱、駅周辺部のたばこのポイ捨て、伊丹商工プラザ周辺の強いビル風等が問題です。

4 賑わいと魅力ある中心市街地の創出

- JR 伊丹駅と阪急伊丹駅を中心とする中心市街地は、空き店舗の増加や商業の低迷といった問題を抱えています。
- 一方で、施設整備や賑わいづくりに向けた活動が行われ、震災前のまちの活気を取り戻しつつあります。

5 地域活動の体制強化

- 地域の役員への負担の集中や担い手の固定化・不足といった課題に直面しています。
- 様々な課題に取り組み、新たな活動を行うために、地域活動のメンバーの増強が課題となっています。
- 地域活動に関わってこなかった人の活動への関心を高め、参加しやすく、継続して関わりやすい体制づくりが必要です。

伊丹小学校地区自治協議会とは

伊丹小学校地区では、平成 26 年度から、組織の簡素化、効率化を目的として地域組織の再構築が進められ、「伊丹小学校地区社会福祉協議会」が「伊丹小学校ブロック自治会長会」「伊丹の“まち”を創りだす会」を統合し、平成 27 年 5 月 17 日に「伊丹小学校地区自治協議会」を発足しました。

伊丹小学校地区自治協議会では、自治会や各種団体が連携し、住民相互が助け合い、住民が主体となって、明るく快適で安全な住みやすい地域づくりを目的に、事業を実施しています。

活動団体等

○21の自治会 ○民生委員・児童委員 ○保護司 ○主任児童委員 ○保健衛生推進委員 ○少年補導委員
○北中学校 PTA ○伊丹小学校 PTA ○伊丹幼稚園 PTA ○防犯協会(防犯部) ○防犯少年補導委員
○商店連合会(商店会) ○ボーイスカウト ○ガールスカウト ○老人会 ○婦人会(部) ○子ども会
○北中学校代表 ○伊丹小学校代表 ○伊丹幼稚園代表

専門部会

伊丹小学校地区自治協議会では、現在 11 の専門部会が各分野で幅広い活動を実施しています。

福祉一部会

地域福祉の推進を図るため、「共に生きる福祉のまちづくり」の実現に向けて、必要な活動を行っています。

福祉二部会

高齢者や障がい者等の当事者の視点に立ち、関係機関等と連携、協働しながらネットワーク型の福祉活動を行っています。

生活環境部会

地区住民が健康で明るく、住みよいまちをつくるため、日常生活を基盤としたよりよい環境づくりをめざしています。

生活安全部会

住みよい安全な地域社会を形成するため、自主的な防犯(防災)活動を推進することにより、地域住民の防犯(防災)意識の高揚を図り、犯罪のない明るい住環境の実現をめざして活動しています。

老人部会

少子高齢社会が進むなか、高齢者相互(世代間)の交流や住民の高齢者福祉への理解を深め、地域社会への参加を図るために必要な活動を行っています。

女性部会

地域内において女性相互の交流や地域との交流を深めると共に、男女共同参画社会の創造と生活文化の向上をめざしています。

子ども部会

子どもの健全育成を図るため、伊丹市や伊丹市子ども会連絡協議会など関係諸団体との連携を図っています。

少年補導部会

伊丹小地区少年補導委員とともに、地域社会の青少年の健全育成実現に向けて活動しています。

広報部会

地区住民に対し、この協議会の認識と理解を深めるための PR 活動を積極的に行い、相互の親睦を図っています。

伊丹の“まち”を創りだす部会

地域内の歴史と文化を掘り起こし、自然環境を守り、地域住民が住みよいまち、住み続けたいまち、誇りがもてるまちづくりを推進しています。

地域ビジョン策定検討部会

伊丹市が実施している「地域コミュニティの基盤強化のための試行事業」のモデル校区となったことを受け、平成 27 年 4 月より、地域の将来像とその実現のための活動計画「地域ビジョン」の策定に向け、活動を行ってきました。地域ビジョン策定検討部会では、毎月、地域ビジョン策定検討委員会を開催し、まちづくりアンケート、まちあるき、3 回の意見交換会(ワークショップ)の企画やビジョン案の検討を行いました。

その他

各専門部会の活動に加えて、事務局が主催する活動があります。また、地域の多くの方にご参加いただいている「伊丹ふれあい夏まつり」は実行委員会が主催して実施しています。

伊丹小学校地区の地域づくりのめざす姿と活動方針

歴史文化を継承し 愛する次世代へつなぐ 安全・安心のまち

伊丹小学校地区が掲げる将来像に向けて、地域住民が集まった意見交換会で7つのテーマで行動計画や事業計画が議論されました。これからのまちづくりの方向性として、既存の取り組みの継続実施や拡大に加え、新たに4つの活動方針を整理しました。

7つのテーマと活動方針

①健康・福祉

②地域環境
(美化・緑化)

③防犯・防災
交通安全

④地域の活性化
(交流)

⑤子どもの
健全育成

⑥地域拠点

⑦地域自治の強化
(広報・財源・人材・組織)

既存の取り組みの継続実施・拡大

+

4つの新たな活動方針

① 様々な世代が明るくいきいきと暮らせるまちづくり

ひとり暮らしの高齢者や認知症、障がい者等、様々な方が安心していきいきと暮らしていけるように、ご近所による見守りや声かけをはじめ、高齢者の生きがいの場や集える場づくり、要支援者の把握、認知症対応の講座の実施や交流の場づくり、外国籍の家庭の支援等に取り組んでいきます。

② まちの賑わいが次世代につながるまちづくり

伊丹市の中心地での賑わいを維持していくために、交通の安全や防犯の取り組み、美化・緑化などの環境保全等を進めます。また、伊丹郷町の歴史や文化を次世代にも伝えていけるように、ボランティアガイド等とも連携しながら、歴史講座等の歴史を知る機会づくりを進めていきます。

③ 団体間の連携・交流を進め、組織再編を検討し、持続可能で、機能的な体制づくり

今後広がる福祉の取り組みへのニーズに対応して、関係者による話し合いの場を設け、新たな体制として見直しを検討します。また、阪急伊丹駅前や商店街の活性化のために、駐輪対策等を商店会と連携して取り組んでいきます。また、地域活動を気軽にお手伝いしていただく仕組みとして、「地域活動サポーター制度」を創設します。

④ 若い人が地域に関わりやすい雰囲気づくり

若い世代が活動に参加・協力していくために、若い世代や、小中高生向けイベントの実施等を進めていきます。また、地域活動に関心への関心を高めるために、地域情報誌の発行・配布、フェイスブックを活用した情報発信を行います。

(1) 高齢者の健康づくり、生きがいづくり

伊丹小学校地区では、自治会ごとに健康体操等の健康づくり、サロン等、地域の高齢者の集いの場や機会がつけられています。今後も高齢者がますます増加していきながら、健康づくりや生きがいづくりにつながる取り組みや場づくりを行い、高齢者が健康でいきいきと過ごすことができる地域をめざします。

■ 高齢者等の参加しやすい活動の実施

事業計画	種類	担当	取り組み時期
健康づくりの促進	既存の拡大	自治会	短期～長期
趣味による生きがいづくり	新規	老人部、福祉一部会	短期～長期
伊丹小3年生との交流会の継続実施	既存の継続	老人部	短期～長期
高齢者が集える場の拡大	新規	検討中	長期
自治会同士や民生委員・児童委員との連携による、複数の自治会が集まる行事の開催	新規	検討中	短期

(2) ご近所の顔見知りの関係づくり

ひとり暮らしの高齢者に対して、民生委員・児童委員等を中心にした取り組みを通じ、地域での見守り、支え合いが行われてきました。ひとり暮らしの高齢者が今後も孤立していかないようにしていくためには、ご近所の顔見知りの関係づくりが必要になります。地域との関わりを持ってもらうように声かけを行い、様々な取り組みへの参加を促すことで、地域の見守りを進めていきます。

■ 引きこもり、ひとり暮らしの高齢者への支援

ひとり暮らしの高齢者への声かけの励行	既存の継続	民生委員児童委員	短期～長期
緊急情報安心キットの配付促進	既存の継続	民生委員児童委員	短期～長期
各自治会の給食サービス、ふれあい給食、サロンの継続実施、街角相談室(仮称)の整備	既存の拡大	自治会	短期～長期
ひとり暮らしの高齢者向けの既存行事の継続	既存の継続	福祉一部会	短期～長期

(3) みんなが一歩前にふみ出せる雰囲気づくり

地域にお住まいの、認知症の方や障がい者、不登校や外国籍の方等、要支援者を把握し、伊丹市や市社会福祉協議会と連携して技術的な支援を受けながら、地域内で支援体制を構築していくことが求められます。同じ地域の一員として、見守りや、誰もが暮らしやすい環境の整備をめざします。

■ 要支援者の把握と支援、理解啓発

要支援者の把握	新規	検討中	短期
認知症等の対応の講座の実施や交流の場づくり	新規	福祉一部会	短期

■ 障がい者への理解と支援

障がい者にやさしいまちづくりの推進	新規	自治協議会	短期～長期
-------------------	----	-------	-------

■ 課題のある家庭への支援

不登校が危惧される子どもの支援	新規	伊丹っ子スマイルスタッフ	短期～長期
外国籍の家庭への支援	新規	子ども部会、民生委員児童委員	短期～長期

(4) よりよい支援を行うための体制づくり

地域の福祉の取り組みは、地域福祉ネット会議や地区助け合いセンター等があります。今後、福祉の取り組みへのニーズが高まっていくことが想定され、わかりやすく持続可能な体制に見直していくことが必要と考えられます。当面は既存の体制で活動を進めながら、より効果的・機能的に活動が展開できるように、福祉の体制の見直しや活動の拠点整備の議論を進めていきます。

■ 支援体制の再構築

福祉の実行体制の見直し	新規	福祉一部会、福祉二部会	短期
福祉活動の拠点整備 ※「7. 地域自治の強化(広報・財源・人材・組織)」にも掲載	新規	福祉一部会、福祉二部会	短期

2 地域環境(美化・緑化)

テーマごとの 行動計画

(1) 住みやすく、緑豊かな環境を維持・管理する

伊丹小学校地区は、建造物と自然が調和した、美しい景観をもつ地域です。また、自治会や校区単位での清掃活動が盛んに行われ、清潔な環境が保たれています。一方、阪急伊丹駅前等において、駐輪マナーの悪化や、たばこの吸い殻等のポイ捨ての増加といった課題があり、空き家や高層マンションの増加に伴う景観の悪化が課題となっています。

そこで、既存の清掃活動等の環境美化活動の継続はもちろん、個人や自治会単位でのごみの管理の徹底、長期的な視点での高層マンション建設への対応や空き家の活用を検討しながら、住みやすく、緑豊かな環境を維持・管理していきます。

■ 地域の環境美化

事業計画	種類	担当	取り組み時期
既存の清掃活動の継続実施	既存の継続	生活環境部会	短期～長期

■ ごみの管理

毎年7月に、自治協議会、自治会、
周辺企業、伊丹市が連携して実施
しています。



▲市内一斉清掃

ごみのルールやマナー、ごみの不法投棄防止の啓発、意識向上	既存の拡大	生活環境部会	短期～中期
阪急伊丹駅周辺の禁煙の推進、ゴミステーションの整備	新規	生活環境部会	短期～中期
自治会ごとのごみ当番、ごみステーションの管理、ひとり暮らしの高齢者のごみ出し支援活動の継続	既存の継続	自治会	短期～長期

■ マンション建設への対応

高層マンション建設にかかるルールづくり ※「7. 地域自治の強化(広報・財源・人材・組織)」にも掲載	新規	検討中	長期
---	----	-----	----

■ 空き家対策

空き家の放置への対応	新規	検討中	長期
------------	----	-----	----

(2) 人も動物も気持ちよい環境づくり

伊丹小学校地区では、自治会による花壇の管理等、地域の住民が気持ちよく過ごせるような緑化の取り組みが行われています。一方で、緑が少ないという声や、街路樹や公園の整備が必要という声があがっています。また、ごみの散乱等につながるカラスの増加、糞尿等による景観の悪化等につながる野良猫、野良犬の増加が課題となっています。地域に住む人がより気持ちよく過ごせる環境はもちろん、地域にともに暮らす動物も気持ちよく過ごすことができる環境を実現するために、地域猫活動や緑化、景観や公園の整備等を推進します。



▲地域猫活動
捕獲し、不妊去勢手術を実施します

■ 地域猫活動

地域猫活動の継続	既存の継続	生活環境部会	短期
地域猫活動への理解促進、飼い主のモラル向上にむけた啓発活動	新規	生活環境部会	短期～長期
地域猫活動を通じた高齢者の見守り活動	新規	生活環境部会	短期～長期

■ 緑化・景観・公園整備

街路樹の管理	新規	生活環境部会	短期～長期
小鳥が来るような環境づくり	新規	生活環境部会	中期～長期
公園やまちの緑化活動・花植え	既存の継続	自治会	短期

(1) 防犯意識の向上・声かけ・見守り

伊丹小学校地区では、子どもの安全の確保に向けて「伊丹っ子スマイルスタッフ」や合同パトロール等の活動が行われています。今後も地域住民一人ひとりの防犯意識を高め、地域全体で子どもや高齢者を守っていける安全な地域をめざします。

伊丹っ子スマイルスタッフの活動のようす(左) ▶
メンバー募集チラシ(右)



見守り活動

事業計画	種類	担当	取り組み時期
伊丹っ子スマイルスタッフの拡充 ※「5. 子どもの健全育成」にも掲載	既存の拡大	伊丹っ子スマイルスタッフ	短期～長期
犬の散歩中の見守りバナー着用推進	新規	生活安全部会	短期
市内一斉愛護/パトロール、年末夜警の継続実施 ※「5. 子どもの健全育成」にも掲載	既存の拡大	少年補導部会、 生活安全部会	短期

防犯の取り組み

安全・安心見守りカメラの活用(モデル事業)	既存の継続	市、自治協議会	短期
防犯対策に関する講座の実施	既存の継続	市、自治協議会、 その他各団体	短期

(2) 災害対策と防災意識の向上

水害の抜本的な対策を伊丹市に強く要請するとともに、水害などの災害に備えて、防災訓練等の取り組みを継続実施し、また、日頃から「大雨によって浸水しやすい場所の把握」や「お住まいから避難場所への経路の確認」など防災意識の向上に努めます。

防災の取り組み

自治会合同自主防災訓練(年1回)の継続実施	既存の継続	生活安全部会	短期～長期
-----------------------	-------	--------	-------



◀ 自治会合同防災訓練

(3) 交通マナーの向上

阪急伊丹駅への通勤・通学による自転車や、自動車の交通量が多く、交通マナーや交通安全が課題となっています。特に、駅周辺では、放置自転車や危険運転等交通マナーが悪化しています。だれもが安心して外出できるよう、地域の事業者や学校と連携しながら、子どもから大人まで自転車マナー向上に向けた事業を実施します。



▲ 放置自転車なくし隊

自転車マナー向上の取り組み

駐輪ラックの活用推進	既存の継続	生活安全部会	短期～長期
事業者と連携した放置自転車対策	既存の継続	生活安全部会、 商店連合会	短期～長期
自転車を使った楽しいイベントの開催に合わせたマナー啓発活動	新規	市、自治協議会	短期

(1) 駅前、まちなかの活性化

伊丹市の中心地での賑わいを今後も維持していくために、若者を惹きつけるお店の確保や、商店街の活性化、阪急伊丹駅前の賑わいづくり等が課題となっています。このため、地域の玄関口である駅前の魅力向上や、商店街との話し合いを行い、地域が一体となって活性化をめざしていきます。

■ 活性化に向けた取り組み

事業計画	種類	担当	取り組み時期
商店会との連携強化	新規	自治会、 商店連合会	中期～長期

(2) 老若男女が自由に交流できる機会、場づくり

伊丹小学校地区には、「伊丹ふれあい夏まつり」「三軒寺前フリーマーケット」「宮前まつり」等、世代を超えて楽しめる行事があります。今後は、そうした行事に加えて、食や音楽、スポーツ関連の行事の増加や、季節ごとの行事や祭りの増加を通じて、子どもから大人まで、多世代で楽しめる行事の実施が求められています。自治会や自治協議会の実施する既存の行事を継続実施し、新たな行事も取り入れながら、地域の交流行事を開催していきます。

■ 地域の交流行事の開催

既存の交流行事の継続実施	既存の継続	自治協議会等	短期～長期
宮前まつりにおける地域内連携の検討	新規	自治会	短期～長期
自治会単位での既存行事の継続実施	既存の継続	自治会	短期～長期
社寺仏閣を巻き込み、歴史を知る機会づくり(歴史講座等)	新規	伊丹の「まち」を創り だす部、女性会	短期
三世代による交流促進	新規	検討中	短期
いたみホール、三軒寺前広場等を活用したイベントとの連携	新規	自治会、商店連合会	中期～長期
子育て世代、若い世代の参加しやすいイベントづくり	新規	検討中	短期



▲伊丹ふれあい夏まつり



▲三軒寺前フリーマーケット



▲三世代交流キックベースボール大会



▲地域親睦グラウンドゴルフ大会



▲まちあるき

(3) 様々な世代への参加促進

地域では多くの行事が実施されていますが、うまく情報が伝わらず、「行事が少ない」と感じている方や、「気づいた時には行事が終わってしまっている」との意見が寄せられています。そこで、これまで回覧板等で情報を受け取っていた自治会に加入している方はもちろん、マンション居住者等の新しい住民や若い世代の参加に向けて適切なタイミング、媒体での情報発信に力を入れています。

■ 若者等への情報発信の強化

自治協議会ホームページの作成、フェイスブックの活用 ※「7. 地域自治の強化(広報・財政・人材・組織)」にも掲載	既存の拡大	検討中	短期
伊丹郷町案内板管理の継続実施	既存の継続	伊丹の「まち」を創り だす部	短期

(1) 子どもの健全育成に向けた地域での支援

伊丹小学校地区では、様々な行事が実施されていますが、「子どもや親子が集えるイベントや場がほしい」「子どもがのびのび遊べる場がほしい」という声が多くありました。

そこで、既に各地で実施されている子ども向けの行事の継続実施はもちろん、これまで子どもの参加が少なかった行事への子どもの参加促進や、親子で参加できる行事を開催していきます。学校や自治会、自治協議会が連携しながら、未就学児から小中高生まで、子どもや親子が楽しみながら新しいことに挑戦できる機会や、のびのび遊べるような場づくりを進めていきます。

■ 子どもが遊べる場や機会づくり

事業計画	種類	担当	取り組み時期
地域ごとに実施しているもちつき、やきいも、映画の継続実施	既存の継続	子ども会、自治会等	短期
もちつき大会の継続実施	既存の継続	子ども部会	短期
親子で参加できるイベントの開催、既存イベントでの子どもの参加	既存の拡大	子ども部会	短期
小中高生向けイベントの実施	新規	子ども部会	短期
運動場や公園の活用	既存の拡大	子ども部会、伊丹小学校	短期～中期
公共施設へのキッズスペースの設置、児童館の整備	新規	子ども部会	短期～中期



▲花の俳句 in いたみ



▲親子ふれあいピンポン大会

(2) みんなが自然に見守り、気軽に声をかけあえる環境づくり

「伊丹っ子スマイルスタッフ」による子どもの見守り活動や年2回の合同パトロール、年末夜警等、子どもの安全確保に向けた取り組みを実施しています。今後も、より効果的に実施していくためには、より多くの人を巻き込みながら、地域で見守りをしていくことが必要になります。特に、車や自転車の多い伊丹小学校地区では、登下校時の安全確保はとても重要です。学校等と連携しながら、地域全体で見守り、声をかけあえる環境づくりをめざします。

■ 子どもの見守り

伊丹っ子スマイルスタッフの拡充 ※「3. 防犯・防災・交通安全」にも掲載	既存の拡大	福祉一部会、福祉二部会、民生委員児童委員	短期
市内一斉愛護パトロール、年末夜警の継続実施 ※「3. 防犯・防災・交通安全」にも掲載	既存の継続	少年補導部会、生活安全部会	短期
声かけの励行(隠れた非行の防止)	既存の継続	子ども部会、伊丹小学校	短期

(3) 地域ぐるみでの子育て支援

マンションやアパート等の共同住宅の増加等に伴う、地域のつながりの希薄化により、育児をする母親や父親の孤立が懸念されています。保護者だけではなく、同じ地域に住む人があたたかく見守り、地域の財産である子どもを支えていくことが必要です。伊丹小学校地区では、そうした思いから、地域社会の中で子どもたちを育てていく、地域ぐるみでの子育て支援を行います。

■ 子育て支援

伊丹幼稚園での「むっくむっくルーム」の継続実施	既存の継続	検討中	短期
-------------------------	-------	-----	----

(1) 誰もが参加しやすい場所の提供

伊丹小学校地区には、「北河原センター」「西台センター」「くすのきセンター」「当田藤ノ木センター」「あじさいセンター」「中央コミュニティセンター」「桜ヶ丘コミュニティセンター」の 7 つの共同利用施設があり、自治会や老人会、子ども会、サークル活動等で活発に活用されています。また、伊丹市の中心部として、「伊丹市立図書館本館“ことば蔵”」や「伊丹アイフォニックホール」「いたみホール」といった文化・社会教育施設等の公共施設も充実しています。

今後は、そうした共同利用施設や公共施設をより多くの人に、気軽に活用していただけるよう、センターの利用方法、設備の見直しを伊丹市に要望しながら、また、他の公共施設と連携し、趣味や、娯楽、勉強会等のプログラムを充実させ、誰もが参加しやすい、集まりやすい場所をつくっていきます。



▲伊丹市立図書館本館“ことば蔵”



▲伊丹アイフォニックホール



▲いたみホール

■ 共同利用施設等の利用促進、活用

事業計画	種類	担当	取り組み時期
共同利用施設等の利用促進	既存の拡大	市、管理運営委員会、広報部会	短期
公共施設の有効活用	既存の拡大	検討中	検討中
集いの場や機会の増加(講演会・勉強会、趣味・娯楽等)	既存の拡大	検討中	検討中

(2) 活動拠点の整備

きめ細かく、充実した地域活動を実施していくためには、会議や交流のための場等、活動拠点の整備が必要となってきます。まずは、地域活動の拠点を確保し、地域での支援体制を整えます。

■ 地域活動の拠点の整備

地域活動の拠点整備	新規	福祉一部会、福祉二部会	短期
-----------	----	-------------	----

(1) 地域活動に気軽に関われるしくみづくり

伊丹小学校地区では、自治会や子ども会等の活動が活発に行われていますが、高齢化に伴い地域活動の役員のなり手の不足や、役員の高齢化といった担い手確保の課題が深刻化しています。今後も継続して事業を実施していくために、地域の様々な方が気軽に地域活動に関われるしくみづくりを進めます。



地域活動サポーター募集チラシ例 ▶

■ 地域活動の担い手確保

事業計画	種類	担当	取り組み時期
地域活動サポーター制度	新規	検討中	短期
検討会議の開催	新規	自治協議会	短期

■ 自治会加入促進

高層マンション建設にかかるルールづくり ※「2. 地域環境(美化・緑化)」にも掲載	新規	検討中	長期
--	----	-----	----

(2) 地域活動の情報発信強化

前述した地域の担い手確保や、地域で活動している様々な団体、魅力的な活動の周知拡大、参加者増加に向けて、情報発信の強化を進めます。地域団体の紹介や活動紹介等、既存の広報紙等の紙媒体やホームページ、ソーシャルメディア等を活用しながら、様々な世代に届く情報発信を行います。



伊丹小学校地区自治協議会フェイスブックページ ▶

■ 情報発信

自治協議会ホームページの作成、フェイスブックの活用 ※「4. 地域の活性化(交流)」にも掲載	既存の拡大	広報部会等	短期
自治協議会「地区自治協だより」の発行	既存の継続	広報部会	短期
FM 放送(伊丹市の広報番組)への子ども出演	新規	広報部会	短期

(3) 組織体制の見直し

地域内での団体や伊丹市との結びつき強化、情報伝達の効率化、担い手や行事への参加者の裾野拡大に向けて、伊丹小学校地区での活動を担う自治協議会をより効率的、機能的な組織としていく必要があります。関連する様々な方の意見を集約し、各団体の役割を明確化しながら、議論の場を設け、組織体制の見直しを検討します。

■ 福祉の実行体制づくり

福祉の実行体制の見直し ※「1. 健康・福祉」にも掲載	新規	福祉一部会、福祉二部会	短期
--------------------------------	----	-------------	----

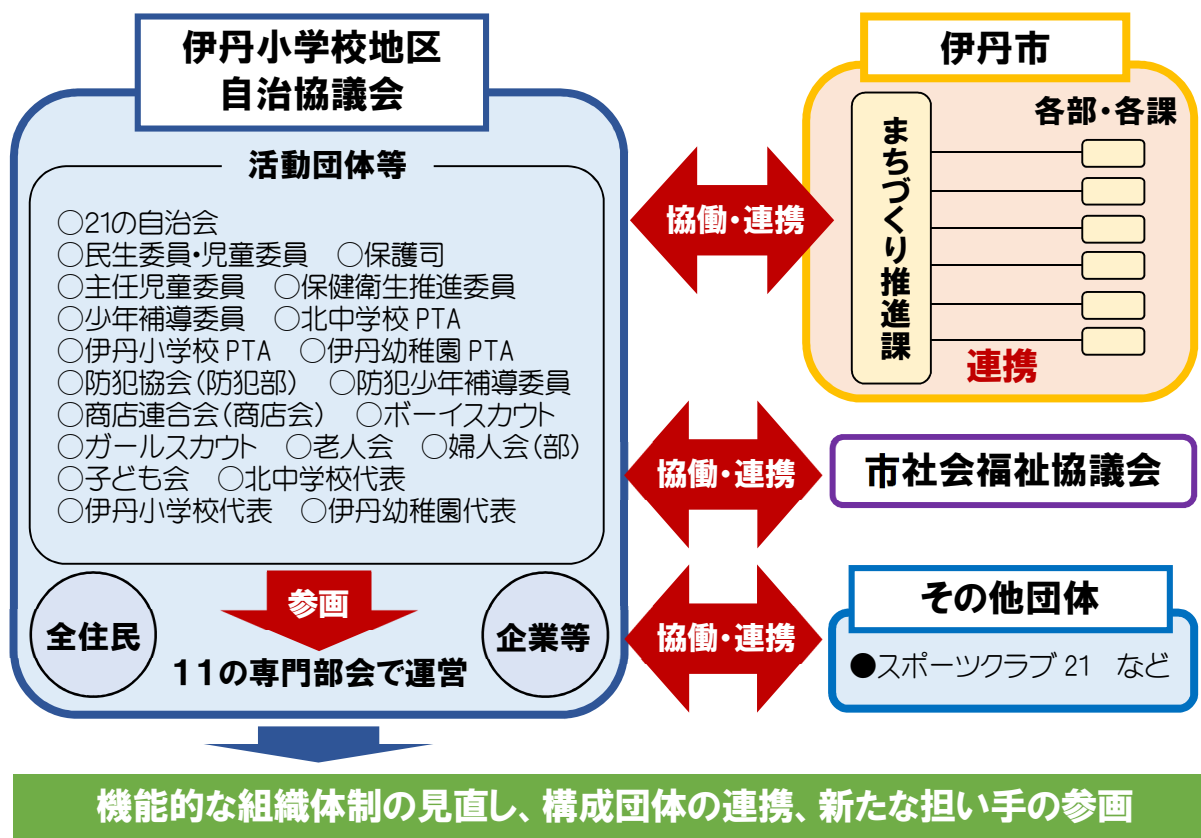
今後の展望

今回の地域ビジョンづくりは、新たに設立した伊丹小学校地区自治協議会の今後めざす姿を地域住民みんなで考え、具体的な形にすることを目標に取り組み、本冊子として結実しました。

しかし、当初は、「地域ビジョンをつくっても、何か変わるのだろうか?」、「地域が変わっても、市は変わらないのでは?」との不安の声もありました。立派な地域ビジョンができて、関係者がその実現に向けて、前向きに、無理なく取り組んでいくことができればまちはよくなりません。これまでは、地域活動には熱心だけれど一体感がない、かつ、市も部局ごとに地域の各団体と個別にはつながっているけれどもタテフリで一体感がない、という状況にあったことは否めません。今回の取り組みでめざしたもうひとつのテーマは、「地域がまとまる」、「市もまとまる」、「地域と市がしっかりとつながる」、という目標を具体化していく体制づくりにあったのです。

幸い、地域がより効果的、効率的な体制づくりに向けて話し合いを重ねる中、市はビジョンの実現に向けて、まちづくり推進課が窓口となり各部局と調整し、地域、市、それぞれがひとつの窓口のもと、しっかりとつながる協働、連携体制を築くことができました。

これらの地域ビジョンという「計画」と、地域と市とのパートナーシップの「体制」を車の両輪とし、今後は、地域ビジョンの具体化という次のステージに進んでいくことになります。



地域ビジョン策定の経過

伊丹小学校地区地域ビジョンの策定にあたり、平成 27 年 4 月から、毎月の地域ビジョン策定検討委員会や、まちづくりアンケート、まちあるき、3 回の意見交換会、臨時総会を実施しました。

※これまでの取り組み内容の詳細は、伊丹市のホームページにある資料をご参考ください。

伊丹市ホームページ 伊丹小学校地区自治協議会の取り組み→
<http://www.city.itami.lg.jp/S0>



伊丹小学校地区 地域ビジョン (概要版)

歴史文化を継承し 愛する次世代へつなぐ 安全・安心のまち

作成・発行 伊丹小学校地区自治協議会
編集協力 伊丹市まちづくり推進課、街角企画株式会社
発行年月 平成 28 年 3 月 (2016 年)

伊丹小学校地区自治協議会の最新情報はこちらから

【伊丹小学校地区自治協議会フェイスブックページ】→

